

健康診断コース 受診のご案内

●胃バリウム検査についての確認事項

「胃バリウム検査」では、バリウムを飲む事や撮影時に激しく体を動かす事などにより副作用が起こる場合があります。検査を安全に進めるため、お申込みをされた方は検査前に下記項目をご確認ください。ご不明点等ございましたら当施設まで事前にお問合せください。

【次の項目に該当する場合 検査を受けることは出来ません】

- 過去にバリウム服用後、アレルギー症状を起こしたことがある
- 妊娠中または妊娠していると思われる
- 大腸憩室炎を1年以内に起こしたことがある
- 検査当日まで3日間以上排便がない

【次の項目に該当する場合 検査当日に確認の上、当日の検査は出来ないことがあります】

- 大腸憩室（だいちょうけいしつ）・腸閉塞（ちょうへいそく）の診断を受けたことがある
- 大腸ポリープの摘出を受けてから3ヶ月以内である
- 消化管（食道・胃・大小腸）手術（胃ポリープ摘出を除く）を受けてから1年以内である
- 炎症性大腸疾患（えんしょうせいだいちょうしっかん）の診断を受け、現在治療中である
- 腎臓疾患（じんぞうしっかん）・人工透析（じんこうとうせき）などで水分制限を受けている
- 検査当日の血圧が180/110mmHg以上である
- 検査当日の体重が130kg以上である（撮影装置の安全性のため）

その他、当日の体調や問診により当日の胃バリウム検査を受けることが出来ない場合があります。

胃カメラを実施の方は、別紙「胃内視鏡検査を受ける方へ」を必ずご確認ください。



●お支払いについて

ご負担金の支払いには、クレジットカード（JCB, AMERICAN EXPRESS, VISA, MasterCard）もご利用いただけます。



医療法人財団
立川中央病院 附属 健康クリニック

健康クリニック案内

健康クリニックへお越しの際は、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- JR「立川駅」南口から徒歩5分
- 多摩都市モノレール「立川南駅」から徒歩3分

※お車でのお越しの方は近隣の駐車場（有料）をご利用ください。
当クリニックの専用駐車場 / 提携駐車場はございませんので
ご了承くださいませ。

※自転車、バイクの駐輪場のご用意はございませんのでご了承ください。

〒190-0023
東京都立川市柴崎町3-14-2 BOSENビル
<https://www.kenkou-clinic.jp>

変更・追加・お問い合わせ

0570-032220



受診前に必ずお読みください

医療法人財団
立川中央病院 附属 健康クリニック

2023/1/10改訂

●前日から受診当日まで

受付時間	10:00～10:30 / 11:00～11:30の方	12:00～12:30 / 13:00～13:30の方
食事と水分摂取	前日の午後9時以降の、食事（アメ、ガムなども）は控えてください。（検査当日の朝食も不可）	
	●お水の飲用については以下の通りです。	
	●胃部検査の無い方： 当日の来院前まで（少量）の摂取は可能	●胃部検査の無い方： 当日の来院前まで（少量）の摂取は可能
常用薬	●胃部検査のある方： 当日の朝7時まで（少量）の摂取は可能	
	※胃部検査について…胃バリウム検査もしくは胃部内視鏡検査のことです。 ※検査実施の有無については別紙「健康診断のご案内 兼 受付票」の【主な検査項目】をご確認ください。	
	前日はいつも通り服用してください。 検査当日の朝は●降圧剤、抗不整脈剤、喘息の薬、神経科の薬を服用している方は少量の水で必ず内服してください。 ●糖尿病の薬（内服薬、インスリン注射）は中止してください。	前日はいつも通り服用してください。 検査当日の朝・昼は●降圧剤、抗不整脈剤、喘息の薬、神経科の薬を服用している方は少量の水で必ず内服してください。 ●糖尿病の薬（内服薬、インスリン注射）は中止してください。
※薬の中止の可否や期間は、必ず主治医とご相談ください。 ※内視鏡検査を受ける方は別紙をご参照ください。		
タバコ	当日は検査結果に影響を及ぼす可能性があるため、検査終了までお控えください。	
採便	①検便は受診日を含め、5日以内のものを採取し、冷暗所に保管してください。 ②容器が2本入っている方は、それぞれ違う便から採ってください。（詳細は採便キット内「正しい大便の採り方」をご参照ください。） ③検査当日に提出できない場合は、キャンセルとなる場合があります。 ④生理中の方の便潜血検査は、受診後1週間以内に郵送していただくことが出来ます。	
採尿	●AM健診:同封の採尿容器に当日の朝の尿を採取し、お持ちください。 ●PM健診:同封の採尿容器に当日の10時以降の尿を採取し、お持ちください。	
受付	5階の受付へ同封の「健康診断のご案内 兼 受付票」をご提出ください。	

※当日ご持参物は、「健康診断のご案内 兼 受付票」にてご確認ください。

●受診にあたってのお願い

【事前の留意事項】

- お子様連れの受診は出来ません。 ●妊娠中の方、または妊娠の可能性のある方は、必ず受付にお申し出ください。
- 眼底・眼圧検査は裸眼で行います。コンタクトレンズを使用している方はケースまたは予備のレンズをお持ちください。
- ノロウィルスなどの感染性胃腸炎に罹患した場合の受診は、下痢、嘔吐、発熱などの症状が完全に消失後、1週間以上間をおいてから御受診ください。

【受診当日の留意事項】

- 検査中は当施設で用意した検査着を着用して頂きます。検査着の下にはパンツ、ソックスは着用可能ですが、その他の肌着は着用せず検査にまわって頂きます。ベストやひざ掛けはございます。
- 当施設では治療は致しておりません。当日体調不良の方は速やかに診療機関を受診してください。
- クリニック内、特に検査室や待合室での携帯電話での会話は控え下さい。必要な連絡はメールをご利用下さい。

●主な検査項目のご説明（健康保険組合や各種団体との契約によって異なります）

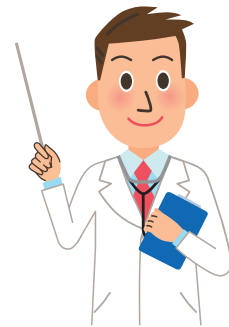
胸部 X 線	肺・心臓・大動脈・気管・胸膜・横隔膜などの異常を調べます。
腹部超音波（腹部エコー）	超音波を用いて画像的な異常（脂肪肝・ポリープ・結石・腫瘍など）をとらえることが出来る検査です。放射線を用いず、痛みや苦痛を伴うことが無いやさしい検査です。肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓の5臓器と、腹部大動脈の検査です。 ※便秘、食事後、体格などの条件により、観察が出来にくい場合もあります。
胃部 X 線（胃バリウム）	バリウム（造影剤）を飲み、胃の形や凹凸・引きつれなどの影を調べます。（癌・潰瘍・ポリープなど） ※大腸憩室の診断を受けた方など、検査が出来ない場合があります。必ず裏面の確認事項をお読み下さい。
心電図	手首、足首、胸に電極を付け、心臓の電気的な活動を記録し、動きを調べます。（不整脈・心肥大・心筋梗塞など）
視力	指示された指標の向きを答え、裸眼又は矯正の5m視力を測定します。（近視・乱視などの屈折異常）
聴力	1000Hz及び4000Hzの周波数で、一定の大きさの音が聞こえるかを調べます。（難聴・突発性難聴・メニエール病など）
眼底	瞳の奥（眼底）を特殊なカメラで撮影し、網膜の異常の有無や血管の状態を調べます。（網膜動脈硬化症・糖尿病性網膜症・緑内障・眼底出血など）
マンモグラフィー	乳房を挟み、薄く伸ばした状態でレントゲン写真を撮影し、乳房の中に隠れている腫瘍や細かな石灰化がないかを調べる検査です。検査はリラックスして行うことにより、検査中・その後の痛みが軽減され、良いレントゲン写真が撮れますので、ご協力をお願いします。

- 検査実施の有無については別紙「健康診断のご案内 兼 受付票」の【主な検査項目】をご確認ください。

●検査実施時に関連して起こる可能性のある出来事

【採血に関連して起こる可能性のある出来事】

- 過度の緊張や不安、空腹などが誘因となって採血の刺激により気分が悪くなり、血圧低下やふらつき、転倒、冷や汗などの症状が出る場合があります。
- 採血後、針を刺したところを揉まずに5分間止血用ベルトで圧迫します。止血が不十分な場合、採血部位が青く腫れたり、内出血したりします。通常は1週間程度で吸収され、内出血も消えてしまいますが、腫れや痛みが強い場合にはご連絡ください。
- 皮膚の下には多数の細かい神経があり、静脈の近くを走っています。どんなに注意深く採血をしても針の刺激により、稀に持続する痛みやしびれ感、腕の運動制限などをもたらす例があることが報告されています。採血後、このような症状のある方はご連絡ください。



【胃バリウム検査に関連して起こる可能性のある出来事】→裏面の胃バリウム検査についての確認事項もお読みください。

- 日常生活で「むせ」を起こしやすい方は、バリウムを飲んだ際に誤嚥（ごえん）（飲食物が気管支へ入ること）を起こすことがあります。
- 胃を膨らませる薬（発泡剤）を飲んだ直後、胃が急激に膨らむことによって、一時的に気分が悪くなることがあります。
- バリウム（造影剤）に対してアレルギー反応を起こすことがあります。症状としてかゆみ・発疹・呼吸困難・めまいなどがあります。

【マンモグラフィー検査に関連して起こる可能性のある出来事】

- 乳房を機械に挟んで検査するため、痛みを伴う場合があります。また、周囲の組織も一緒に挟むため、検査終了後に時間が経ってから痛みが発生する場合があります。多くの痛みは検査終了後～数日で消失すると思われますが、いつまでも痛みが改善しない様でしたらご連絡ください。